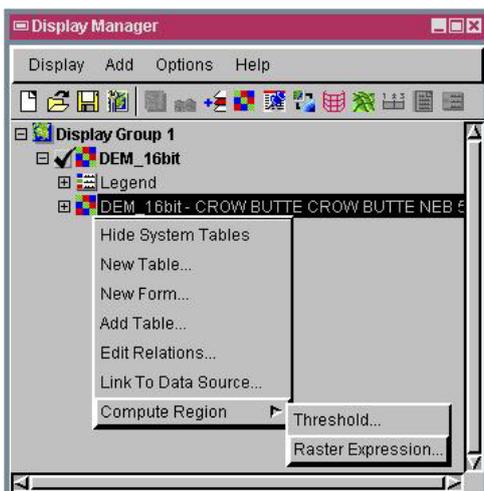


ラスタの式 (クエリ) を使ったリージョンの作成

ご存知でしたか?... クエリで選択したラスタセル値を使ってリージョンを計算できます。

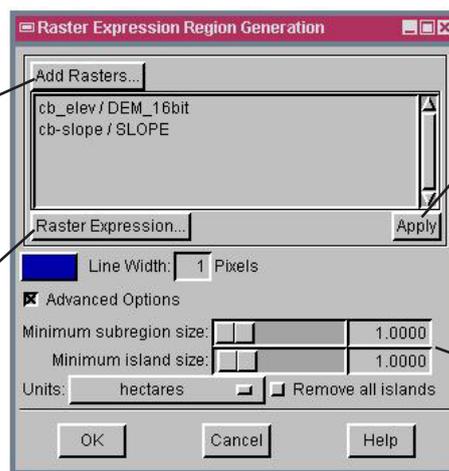
ラスタの式 (クエリ) を使ってリージョンを作成することで...

- ラスタオブジェクトを使ってリージョンを作成できます。
- クエリを使ってリージョン作成に使うラスタセル値を選択できます。
- 最小サブリージョンや、最小アイランド (島) のサイズを設定できます。
- [ジオツールボックス (GeoToolbox)] に加える前に、生成されたリージョンをプレビューできます。



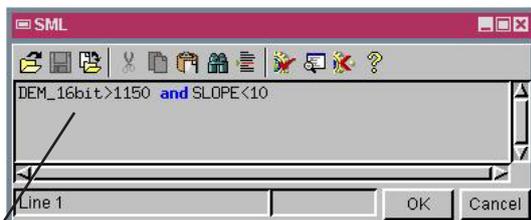
ここをクリックして、ラスタのクエリで使うラスタオブジェクトを選択します。

クリックして<スクリプトエディタ (SML)> ウィンドウを開きます。

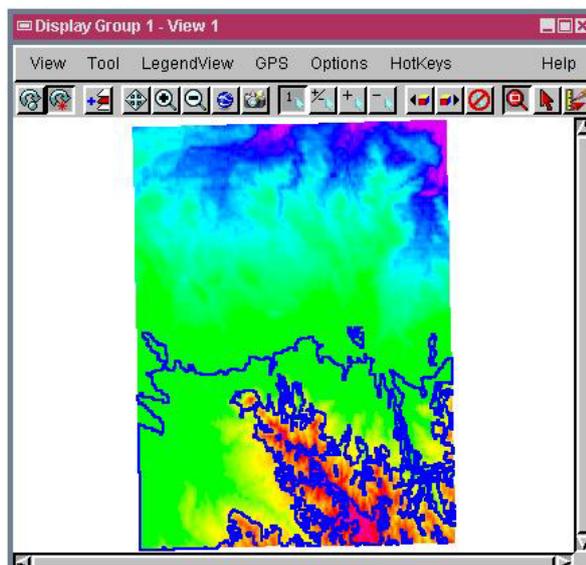


[適用 (Apply)] ボタンを押すと、リージョンがプレビューされます。

[高度なオプション (Advanced Options)] パネルでは、最小サブリージョンと最小アイランドのサイズを設定できます。



クエリを入力して、条件を満たすセルを抽出します。



[ジオツールボックス] アイコン

右図の囲まれたエリアがラスタの式 (クエリ) を使ったリージョンです。傾斜が 10% 未満、標高が 1150 メートルを超えるエリアです。

ラスタの式 (クエリ) を使ったリージョンの作成方法

- グレースケールのラスタオブジェクトを加え、レイヤ名の先頭の+ (展開ボタン) をクリックし、ラスタの詳細を表示します。
- ラスタ名またはアイコンの上で右クリックします。
- 開いたメニューから [リージョンの計算 (Compute Region)] > [ラスタの DN 値調整 (Raster Expression)] を選択します。
- [ラスタレイヤの追加 (Add Rasters)] ボタンをクリックして、クエリで使うラスタオブジェクトを選択します。
- [ラスタの DN 値調整] ボタンをクリックして <スクリプトエディタ (SML)> ウィンドウを開きます。
- ラスタセル値を選択するクエリを入力します。
- [適用] ボタンをクリックして、一時リージョンをプレビューします。
- [OK] をクリックしてリージョンを生成し、[ジオツールボックス] を使って保存します。



さらに知りたいことがあれば...

マイクロイメージのウェブサイトをご覧ください

